創大スポーツ

2024年（令和6年）11月25日（月）

第55回 明治神宮野球大会号外

【発行】創価大学企画広報課

〒192-8577 東京都八王子市丹木町1-236 TEL042-691-9422

輝いた!!人間野球

創部50周年 歴代最高の準優勝

創価大学硬式野球部は第55回記念明治神宮野球大会（11月20日～11月25日・明治神宮野球場）において、全国の舞台で過去最高成績となる快挙を成し遂げた。

秋リーグ戦で２季ぶり50回目の優勝を成し遂げた後、神宮野球大会出場を決める横浜市長杯争奪・関東地区大学野球選手権に出場。そこで３試合のうち２試合が延長タイブレークでの勝利という苦しい戦いを勝ち抜き、６年ぶり12回目の明治神宮野球大会への出場を決めた。

大会では好調な打線を中心に強豪を次々と倒して決勝へ進出。決勝は今春の全日本大学野球選手権大会の覇者で東都の雄・青山学院大学。大学野球の頂点に立っている強豪を相手に、最後まで執念の戦いを繰り広げたが、惜しくも準優勝という結果になった。

1971年（昭和46年）同好会として開始。1974年（昭和49年）より、東京新大学野球連盟に加盟。2部リーグに所属。1975年（昭和50年）春季2部リーグで優勝し、秋季より1部リーグに昇格。グラウンドは創価大学キャンパス内ワールドグラウンド（東京都八王子市丹木町1―236）に所在

準優勝杯を持つ中澤主将

戦評

明治神宮野球大会・大学の部決勝が11月25日13時にプレーボール。

今春の全日本大学野球選手権の覇者・青山学院大学が1回表、いきなり中田の満塁ホームランで0―4と先制。創価大学もその裏、立石、古和田の連続ヒットでチャンスをつかみ、中澤の打席で相手投手のワイルドピッチで1点を返し1―4に。

しかし、青山学院も3回表に青山の3塁打と渡部の犠牲フライで1―6と創価大を突き放す。

さらに4回の表にはエラーの失点で1―7と点差が開いた。その後は両チームの投手の踏ん張りで得点を上げられずに終盤に突入した。ここから「心で勝て」の精神のもと創価大の反撃が始まる。

8回1死後、大城のセンターへの3塁打のあと今大会絶好調の立石がタイムリーヒットを放ち2―7とする。立石は積極的に走って3塁まで進塁するが後続が打ち取られてこの回を終了。

9回を齋藤が3者凡退に抑えて、さあ!最終回の反撃へ。1死後、宮原のライトへのヒットでチャンスをつかむ。2死後、代打・鈴木が右中間にタイムリー2塁打を打って3―7と追い上げるも青山学院・鈴木に後続を断たれゲームセット。

ヒットで青山学院の4本を上回る7本を記録するも悔しい敗戦となった。試合には敗れたものの、終盤の粘りは来年に大きな期待を抱かせるものとなった。

創価大学硬式野球部の監督、コーチ、全選手に大きな拍手を送ろう。

「もっと輝け!創大野球部」

▽決勝

青山学院大	4	37
創価大	2	1

【青学】中西、鈴木

【創価】田代、上田、森畑、齋藤

理事長コメント

田代康則理事長

歴代最高となる準優勝の快挙

一人ひとりの勇姿に感動　選手の皆さん、全国大会での激闘、本当にご苦労様でした。

また、選手を陰で支えた控えの選手、スタッフの皆さん、そしてパイオニア吹奏楽団、パンサーズの皆さんも寒い中、本当にご苦労様でした。

多くの方々の想いを背負って、全国大会で創部以来初となる決勝進出・準優勝という偉業を成し遂げてくれました。

最後まで決してあきらめることなく全力でプレーした姿は、卒業生をはじめ、全国並びに世界各地の応援をしてくださった皆様に大きな感動を与えてくれました。本当にありがとうございました。

学長コメント

鈴木将史学長

一人ひとりの勇姿に感動

明治神宮野球大会での準優勝、誠におめでとうございます。

どれだけ厳しい状況になろうとも、全員野球で白球を追いかけ、最後まで粘り強いプレーを繰り広げた選手たちの姿に勇気をいただきました。

懸命にサポートにあたられた硬式野球部、関係者の皆様もお疲れ様でした。

応援してくださった皆様に心より感謝申し上げます。

明治神宮大会

第55回明治神宮野球大会（11月20日～11月25日）

11月20日（水）1回戦

創価大学	0	2	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
佛教大学	0	0	0	1	2	2	1	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1

投手　森畑―齋藤　本塁打　立石（1回表2ラン）、古和田（6回表2ラン）

11月22日（水）準々決勝

富士大学	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
創価大学	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	×0

投手　田代―齋藤

11月24日（日）準決勝

環太平洋大学	4	0	1	4	2	0	2	2	1	1	0	1	2	0	0	0	0	0	×0
創価大学	1	4	2	0	2	2	1	1	0	1	2	0	0	0	0	0	0	0	12

投手　森畑―上田―齋藤　本塁打　立石（7回裏2ラン）

横浜市長杯

令和6年度（2024）横浜市長杯争奪・関東地区大学野球選手権（横浜スタジアム）

（11月4日～11月8日　横浜スタジアム）

11月7日（木）（延長10回タイブレーク）

中央学院大学	0	0	1	0	1	0	3	1	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0
創価大学	0	1	0	1	0	3	0	1	1	3	0	0	0	2	0	0	0	0	×1

投手　田代―上田―齋藤　本塁打　宮原（5回裏ソロ）、立石（7回裏3ラン）

11月8日（金）（延長10回タイブレーク）

横浜商科大学	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0
創価大学	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	×1

投手　森畑―齋藤

日本体育大学	0	0	0	0	1	1	0	4	0	0	4	1	0	4	0	0	0	0	×0
創価大学	0	0	0	1	1	0	4	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	96

投手　田代―上田―齋藤

6年ぶり5回目の優勝・明治神宮野球大会は6年ぶり12回目の出場